

# マイコンカーラリーと教育効果

(株) 日立製作所 半導体事業部 寺下 晴一

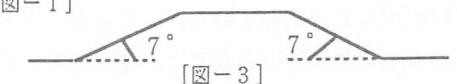
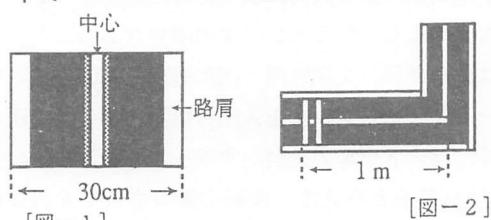
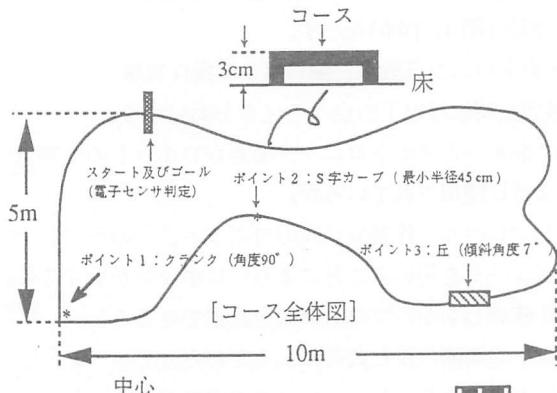
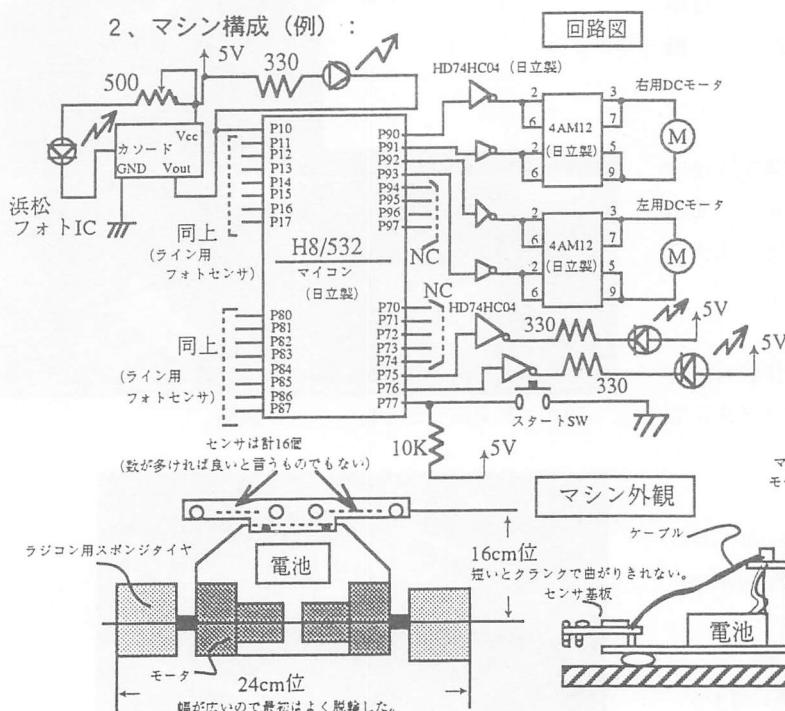
## 要旨

マイコン制御による完全自走式モデルカーでタイムを競うマイコンカーラリー大会を、全国に先駆け北海道で開催した。マイコンのプログラム力とハード力、モデルカーのメカニカル製作力、その全てのバランス力が大会勝敗の結果として現われた。同時に本大会参加者は、従来の○×式の教育では学ぶことの出来ない「物作り」体験を通して、最先端なメカトロ技術を習得することが出来た。

### 1. 大会基本ルール：

- (1) 規定内のコースにマシンを2台併走させ各マシンのタイムを競う。
- (2) コースの材質はアクリルフィルム製でつや消し黒色とする。  
コースの幅は30cmとし、中心に2cm幅の白線、さらに白線の両サイドに1cm幅の灰色ラインが引いてあり、この線を判断して車が進む。路肩には各3cm幅の白線が引いてある。… [図-1]
- (3) ポイント1のクランク部分手前1mには、2cm幅の白線が横に3cmの間隔で2本引いてある。… [図-2]
- (4) ポイント3の丘の傾斜は各7°の台形とする。… [図-3]
- (5) 電源及びエネルギー源は単三アルカリ乾電池、8本以内とする。
- (6) マシンの外形は幅30cm、高さ20cm以内、形、長さ、重量、材質についての制限はない。
- (7) マシンの一部がコース外の床、壁に接触または、規定コース内を5分以内で完走出来なかつたものは失格とする。

### 2. マシン構成(例)：



### 3. 大会開催までの軌跡：

なぜ全国に先駆け、北海道で本大会が開催されたのか？

#### (1) マイコン研修会の開催：

1993年

「北海道マイコン制御技術教育研究グループ」の結成

(道内工業高校教諭他230名で構成)

\*夏、冬休み期間を利用した  
教諭参加による自主研修会の開催\*  
(初級、上級コース各40名募集)

日立

研修目的：

マイコン研修会協力  
(講師派遣他の協力)

生徒が興味、関心を持ち授業で直ぐに  
活用できる教材の開発を行う。

(工業高校教諭以外に、中学、普通高校、専門学校の教諭、  
高専、大学教授と研修参加の輪が広がっている)

#### (2) マイコンカラリー企画とのJoint：

1995年

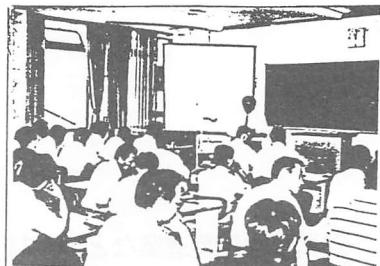
マイコンカラリー企画

「北海道マイコン制御技術  
教育研究グループ」

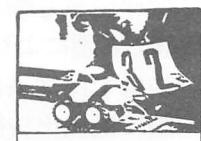
日立グループの協賛

大会主催（運営支援）

第1回大会：「マイコンカラリー'96 北海道大会」開催  
第2回大会：「マイコンカラリー'97 北海道大会」



[教員向けマイコン研修風景]



[最終調整風景]

### 4. 結び：

#### (1) 大会出場教諭コメント：

\* 電源、エネルギー源の（単三アルカリ乾電池8本以内）  
制約があるので、お金がかからず、頭脳の勝負で楽しい。  
(函館 K教諭)

\* 生徒に「物作り」の楽しさと「メカトロ教育」の体験を  
両立して教育出来る最高の教材である。(札幌 U教諭)

#### (2) 大学関係者コメント：

\* 「物作り」体験によるメカトロ技術習得を楽しんで  
学習出来る本企画は、非常にInterestingな大会である。  
(筑波大 油田教授)

\*若い人がマイコンカラリーにChallengeする姿は美しい。  
(芝浦工大 春日教授)

#### (3) 大会参加者数：

\* 第1回大会 日時：1996年1月13日（土）  
場所：北海道札幌国際情報高等学校

部門別	参加数
高校の部	91台
一般の部	73台

\* 第2回大会 日時：1997年1月12日（土）、13日（日）  
場所：北海道札幌国際情報高等学校

部門別	参加数
中学の部	18台
高校の部	150台
一般の部	159台

#### (4) 教育効果：

\*情報処理技術者の合格者が出席高校生の中から多く出てきた。  
\* 工業高校から大学進学者が増加している。  
一芸入学の道が開けてきた。（北海道教育大、北海道工業大等）

#### [ (4) 教育効果 : ]

\* 参加生徒の自立性。  
(閉鎖的性格→リーダシップ)

\* 中学生の参加。  
(近隣の高校生が中学生に指導)

\* 親子の共同作業が出た。  
(子供が高校生の部、親が一般の部参加)

#### (5) あい路事項：

\* 本大会に出場を希望する初心者に  
マイコン講習の下地教育が必要、実施法の妙案。  
\* 試作調整時の大会に則したコース作りと  
コース確保の妙案。  
\* ミニ四駆愛好者、低学年層への普及活動に  
関する資料作成妙案。

#### (6) 大会の動き：

##### \* 第3回大会：

日時：1998年1月10日（土）、11日（日）  
場所：北海道札幌国際情報高等学校  
「ジャパンマイコンカラリー'98」とし、  
「北海道大会」の文字を外す。  
(全国大会に向けて飛躍)

\* 九州、大阪、広島、宮城地区でも  
マイコンカラリー大会誘致の動きが  
地区教諭を中心に具体化してきた。

最後に本大会が広く全国、世界へと広まり  
学生が「マイコンカラリー」体験のなかで  
「メカトロ技術」を習得して頂くChance  
となれば、幸いである。